

第2回二宮町総合計画審議会及び二宮町総合戦略検討委員会 会議要旨

日 時 2015年8月26日(水) 午前9時15分～午前12時00分

場 所 二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム2

出席者 委員16名

後藤伸会長、廣上正一副会長、前田憲一郎委員、柳川駅司委員、蓮實茂夫委員、柏木稔委員、佐藤清委員、田邊邦良委員、岡本康則委員、筈建夫委員、秋山和紀委員、高須英郎委員、豊田博美委員、駒澤慎一郎委員、岩永岳大委員、井上岳一委員

町職員 政策部長

事務局 企画政策課3名・財政課1名

傍聴者 10名

配布資料

- 資料1 『人口の動向分析(概要版)』
- 資料1(参考) 『人口の動向分析』
- 資料2 『総合戦略のテーマ(案)』
- 資料3 『中期基本計画の策定に向けた課題』
- 資料4 『総合戦略の骨子イメージ』
- 資料5-1 『二宮町財政状況説明資料』
- 資料5-2 『財政状況内訳資料』
- 参考資料 『アンケート結果(速報版)』

会議概要

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議事

(1) 人口動向分析の検討について

委員 : コンサルは出生率を高めることがバランスの良い年齢構成となるという結論を出しているがどうか。

委員 : 子育てしやすい環境作りに力を入れるべきではないか。子育てに投入した予算の費用対効果を見つつ、効果的に進めるべきだ。

委員 : アンケート結果では、子育て関係が二宮町への転入の決め手にはなっていない。

事務局 : 現時点では決め手になっていないが、今後力を入れていくと良いと考えています。

委員 : ここでは人口ビジョンの5つのパターンから1つを選ぶことが目的か。

委員 : パターンを選ぶのではなく、二宮町の人口動向を踏まえてどのような取り組みを行う

べきかを挙げている場である。子育てしやすい町のイメージを作ることが大切ではないか。

委員：合計特殊出生率はトレンドでいくと減少傾向にあるが、どこかの時点でプラスになるような議論が必要だ。

委員：近年ファミリー世帯が転入超過とあるが、二宮の利点は地価が割安な点ではないか。アンケート結果で住宅の価格が二宮への転入の決め手とある。この強みを活かして人口ビジョンを策定すべきではないか。

(2) 総合戦略の課題の検討について

委員：総合戦略の4つの柱は大きくは動かさないという理解で良いか。

事務局：国の4つの柱に沿って設定しており、基本的には大きく変更しない予定です。

委員：基本目標2は、基本目標1と似ていて区別しにくい。人の流れをもっと明確に示すべきではないか。

事務局：ただ単に二宮への人の流れを作るだけでなく、二宮から情報発信をしていくことが重要であると考え、議論していきます。

委員：住民ワークショップについての報告をしてほしい。

事務局：第1回目が終了し、今後取り上げるテーマを設定したところです。2回目以降でテーマを掘り下げ議論していきます。

委員：町民の意見も必要だが、PDCAのCの評価方法や、その結果の示し方が薄いのではないか。本日でなくて良いので説明をしてほしい。

事務局：町では行政評価を実施しており、前期基本計画の評価は今後の審議会で提示します。また、まちづくり評価委員による外部評価も行っています。

委員：基本目標2は、二宮町の住民は他市町村で勤務している割合が高いので、国の考え方と同じ土俵で話をすることは難しい。

委員：地場でどのような取り組みを行うべきかを検討すべきではないか。

委員：公社が百合が丘団地を開発したのは、周辺自治体に立地する工場勤務者の住宅の受け皿の一面があった。他の都市に期待して施策を検討するのは難しいので、小規模な企業支援などに取り組んではどうか。百合が丘団地では地産地消、高齢者のいきがづくり、地域との結びつきが課題となる。

委員：町内に住み町内で働く自営の方がそれなりにいるのが魅力的だ。地域で雇用が生まれるとするとサービス業くらいしかないだろう。外部企業に頼っても良い結果は生まれないので、ローカルな企業が雇用を創出すべきと考える。

委員：実施計画をみると、二宮ブランドが重点になっているにもかかわらず予算が年60万円であり、掛け声は良く聞くが実際に何を行っているのか。

事務局：お土産のパフレットの作成を行い、またふるさと納税の特典として二宮ブランド商品を提供している。今後もブランドを売り出していきたい。

委員：果樹のまちとの声があったが、10年後には荒廃地となる。農家の子供は勤めに出ているので後継者はいない。道路などのインフラが整備されておらず大型機械が入らず、

農地の構造改革が必要だ。

委員 : 貸農園を利用したい人もいる。二宮に来ると農業もやれるとアピールになるのではないかな。

委員 : 農家の中には、戦後の農地解放で土地を取られたことでいまだに嫌悪感を持っている人もいる。これらの人は農地を他人に貸すくらいなら荒れたままで良いと思っている。

委員 : 空き家を活用した定住促進、活用を盛り込めるようにしてはどうか。

事務局 : 空き家の先行的な取り組みとして、空家実態調査を今年度実施し、所有者の意向把握を行っています。市場誘導策は今後検討予定です。また同居近居に対する補助も行っています。空き家バンクは今年度中に実施予定です。

委員 : 高齢者福祉、ニュータウンの再生支援に取り組んでほしい。高齢福祉は介護認定率が低いことを誇ってよいのではないかな。ニュータウンの再生支援はまちのあらゆる分野に良い影響を与えると想像している。

委員 : 町内の学校は、学力テストではトップだが体力はワーストに近い。学力や多様な施設や自然環境をアピールしてはどうか。

委員 : 学力は下から数えたほうが早い。また豊かな自然環境もうまく活用できず、転入者はそのギャップに他自治体に転出してしまう。

委員 : 吾妻山に登る人が少ないので、自然を生かしたプログラム等があるとよい。また、東大跡地でのプレイパーク的な活動や、老人福祉的な視点でいうと周辺の自治体でホスピス施設が閉鎖されたので、看取りの施設が町内にあると、出生から亡くなるまでのすべて町内で面倒をみることができる。

委員 : 2本目の柱の例示にある「特色ある」は、「地域環境を活かした」の方が良いのではないかな。また、「二宮スタイル」の具体的な内容が見えない。

事務局 : 二宮スタイルはまだ内容は固まっていないが、HPのリニューアルに合わせて町のブランディングを考えるキーとなる言葉として採用しています。

委員 : データを見ると、藤沢市や茅ヶ崎市からの転入が超過傾向にあることは財産ではないかな。

委員 : 二宮町は自然に恵まれていて、再生可能エネルギーの宝庫と感じている。再生可能エネルギーの創出に力を入れていくことで町のイメージアップにつながるのではないかな。

委員 : 総合戦略の4本の柱を見て町のイメージが見えると良いのではないかな。例えば、長寿の里で環境が良いならそれを軸にしていることが分かるように展開してはどうか。また、地域の力をどう活用するのか、また、住民と行政がどのようにつながるのか入っているとよい。

委員 : 二宮の全体イメージはどこで示されるのか。

事務局 : 町の将来像等は基本構想で示しています。全体的なことは総合計画で示し、実現化を図る計画として総合戦略を策定します。

委員 : 医療が入っていない。町医者が減っているので入れてほしい。

委員 : 未利用地の活用や施設の維持管理が大切ではないかな。

委員 : 神奈川県総合戦略をうまく活用してもよいのではないかな。例えば国の戦略にある仕

事についての取り組みは、町の財政規模では難しい。一方で県では重視される事柄なので、県の取り組みと連携し、町は他のまちづくりに注力すると良いと感じている。

委員：起業の際に町内で物件を借りる時の支援や、町内にあるマーケットのPRはしているのか。

事務局：起業化支援を行っていましたが、現在は商工会が主体となっています。

委員：商工会で行っている起業化支援への申し込みは今年度は0件だった。今後は応募内容をより具体化するよう検討中だ。

委員：町内の若い人からはカフェが無いという意見を良く聞く。

委員：二宮ブランドを作っている企業は家族経営が多く、企業体力がないので大きく事業展開を図ることは難しい。二宮ブランドの住民への浸透も十分ではないと感じている。

委員：適切な土地利用とあるが、ここには農地を含むのか。

事務局：東大跡地や商業地等を想定しています。

委員：荒廃地の多くは農地改良をしていないため、道路整備や農地の集約化を図らないと活用は難しい。

(3) 中期基本計画の策定に向けた課題について

(意見なし)

(4) その他

【財政シミュレーションについて】

委員：人口減と町の財政はどう連動するのか。

事務局：財政シミュレーションは出来ており、議会には10年間の見通しを出しています。人口が減ることにより税収は減ることとなります。また、高齢者が増えることにより健康保険等の繰り出し金が増えることも想定されます。

【次回開催日程】

事務局：次回の開催を10月19日(月)午後3時半からとしたい。